

平成30年度第2回山梨県富士山科学研究所課題評価の結果について

山梨県富士山科学研究所では、平成30年12月12日(水)に当研究所において、平成30年度第2回課題評価委員会を開催しました。

今回、評価対象になった研究課題は事後評価7件で、評価結果は、次のとおりです。

1 課題評価委員(別紙1) 委員長 平田 徹

2 評価対象研究課題

平成29年度に研究を終了した研究課題7件について、評価を行いました。

【 事後評価 7件 】

[基盤研究]

- ① 衛星データを用いた富士山周辺の土地被覆変化把握に関する研究 (H27～H29)
- ② 富士山北麓におけるニホンジカとニホンカモシカの分布および個体群動態 (H28～H29)
- ③ 高所登山時に見られる低酸素・脱水状態が低温環境にさらされた時の生体反応に与える影響に関する研究(H27～H29)
- ④ 富士北麓地域における災害履歴とその住民の対応～近世文書・聞き取り調査のデータベース化 (H27～H29)
- ⑤ 富士山の古地磁気を用いた溶岩噴出年代の決定(H27～H29)

[富士山研究]

- ⑥ 富士山の火山噴出物に関するデータベースの構築(H27～H29)

[特別研究]

- ⑦ 富士山の吉田口登山道における山小屋建築の意匠と構成に関する研究(H28～H29)

3 研究課題に対する評価結果

- (1) 基盤研究5課題、富士山研究1課題、特別研究1課題に対する総合評価点(5段階評価)は、3.8～4.3(平均4.0)で、全ての研究課題について、「妥当」との評価結果でした(別紙2)。

〈 5段階評価 〉

- 5:非常に優れている。
- 4:優れている。
- 3:良好・適切である。
- 2:やや劣っている。
- 1:劣っている。

(別紙1)

山梨県富士山科学研究所課題評価委員会委員名簿

(任期:平成30年8月1日～平成32年7月31日)

職	氏名	所属・役職	専攻分野
委員長	平 田 徹	山梨大学 名誉教授	生態・環境学
副委員長	石 原 和 弘	京都大学 名誉教授	火山物理学
委員	大 山 勲	山梨大学生命環境学部 地域社会システム学科 教授	地域・都市計画
委員	曾 宮 和 夫	環境省自然環境局 生物多様性センター センター長	環境行政
委員	坂 本 宏 史	健康科学大学 理学療法学科 教授	神経解剖学
委員	原 澤 英 夫	国立研究開発法人 国立環境研究所 理事	環境工学

(別紙2)

平成30年度 第2回 富士山科学研究所課題評価委員会 評価結果

日時:平成30年12月12日(水)13:00~16:00
場所:富士山科学研究所 2階 第1会議室

課題評価の種類	研究種目	研究課題名	期間	評価点
事後評価	基盤研究	衛星データを用いた富士山周辺の土地被覆変化把握に関する研究	H27~29	3.8
		富士山北麓におけるニホンジカとニホンカモシカの分布および個体群動態	H28~29	3.8
		高所登山時に見られる低酸素・脱水状態が低温環境にさらされた時の生体反応に与える影響に関する研究	H27~29	4.2
		富士北麓地域における災害履歴とその住民の対応~近世文書・聞き取り調査のデータベース化	H27~29	3.9
		富士山の古地磁気を用いた溶岩噴出年代の決定	H27~29	4.3
	富士山研究	富士山の火山噴出物に関するデータベースの構築	H27~29	3.9
	特別研究	富士山の吉田口登山道における山小屋建築の意匠と構成に関する研究	H28~29	4.0